

健康ひろば



大人とこどもの予防接種

接種は委託医療機関(下表)での個別接種です。医療機関・保健センターに備えの説明書や市役所からの通知をよく読み、医療機関へ事前に予約して接種を受けてください。市外の医療機関は助成の対象とならない場合がありますので、事前にお問い合わせください。

大人の予防接種

市独自で助成を行う任意予防接種

高齢者の肺炎球菌(23価)

対象 ①65歳以上で定期接種の対象とならない方 ②2回目の接種で前回の接種から概ね5年以上経過している方

費用 4,100円(市内委託医療機関で接種した場合)

助成回数 助成を受けたか否かに関わらず、生涯で2回目の接種まで

持ち物 本人確認書類

带状疱疹

対象 50歳以上の方 ※過去に市の助成を受けた方および定期予防接種対象者は対象外

費用 接種1回あたり助成額4,000円を差し引いた額

持ち物 本人確認書類



定期予防接種

高齢者の肺炎球菌(23価)

対象 ①65歳の方(65歳の誕生日から66歳の誕生日を迎える前日まで) ②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方(身体障害者手帳1級相当) ※①②とも過去に接種を受けたことがある方は対象外

費用 2,500円 ※生活保護世帯は受給者証持参で無料

持ち物 予診票、本人確認書類、対象②の方は身体障害者手帳

带状疱疹

対象 ①年度内に65、70、75、80、85、90、95、100歳となる方および100歳以上の方 ②60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する方

費用 組換えワクチン=16,700円/回 生ワクチン=4,700円

接種期間 令和8年3月31日まで

※対象者には「ご案内はがき」を郵送します

こどもの予防接種

市独自で助成を行う任意予防接種

おたふくかぜ

対象 1歳～小学校就学前年度 **費用** 3,500円

不活化ポリオ

対象 令和元年4月2日～令和2年4月1日生まれ **費用** 5,000円

定期予防接種

予防接種法により実施しています。対象の年齢・期間であれば無料で接種ができます。

詳細は二次元コードから市HPをご覧ください。



鴻巣市内予防接種委託医療機関

医療施設名	電話番号
愛の町ポピークリニック	595-1041
あおばクリニック	580-5670
赤見台整形外科・内科クリニック	595-1100
おおさきクリニック	580-7720
大塚医院	541-0932
北鴻巣クリニック	596-1423
河野小児科医院	541-0146
こうのす共生病院	541-1131
鴻巣外科胃腸科	543-7770
鴻巣第一クリニック	542-5566
鴻北クリニック	595-3733
小室クリニック	541-0020
埼玉県済生会鴻巣病院	596-2221
埼玉脳神経外科病院	541-2800

医療施設名	電話番号
斉藤内科胃腸医院	541-4345
佐野医院	541-2888
サンビレッジクリニック鴻巣	540-0088
清水こども医院	540-6360
昭和クリニック	548-0025
第1さくら医院	543-0022
高橋胃腸科医院	542-5018
たけうちクリニック	594-7701
田嶋医院	548-6230
坪山整形外科	548-0052
中村医院	541-1331
仁科整形外科	543-7099
はやしだ産婦人科医院	541-8000
ひまわりこどもクリニック	544-5600

医療施設名	電話番号
平野産婦人科医院	548-4422
吹上共立診療所	548-3865
吹上整形外科医院	548-5211
ふたむら内科クリニック	540-6635
プライムクリニック	543-8888
ヘリオス会病院	569-3111
ヘリオスクリニック	540-7320
星野医院	542-8911
宮坂医院	569-0100
村越外科胃腸科肛門科	548-0048
山口内科クリニック	541-0215
山田ハートクリニック	540-4180
湯本フラワー通りクリニック	595-1711
わたまクリニック	541-5756

※医療機関により実施している予防接種が異なります



こどもの健診・相談
などの情報はこちら

◆保健センター

健康づくり課 ☎543-1561、FAX 543-5749

子育て支援課母子保健担当 ☎543-1562

新たに開始します がん対策の助成

■ がん患者アピアランスケア用品購入費助成金

令和7年4月1日以降に、がん治療に伴う外見の変化を補うためのアピアランスケア用品(ウィッグ等・胸部補整具等)を購入した方に対し、購入費の一部を助成します。



■ 若年がん患者在宅療養支援事業助成金

18歳以上40歳未満で末期がんと診断された方に対し、訪問介護・訪問入浴介護、福祉用具の貸与・購入、意見書の作成料などの在宅療養生活に要する経費の一部を助成します。



成人歯科健診

期間 令和8年3月31日(火)まで

対象 市内在住の30歳の方または40歳以上の方

費用 400円

申込み 電子申請いただくか、電話または直接保健センター窓口



20歳の歯科健診も実施中。対象者には受診券(はがき)を送付しますので、届きましたら内容をご確認ください。

5月

休日当番医(診療内容は事前に確認してください) 9時～12時・13時～17時

日にち	医療機関名	科目	電話
3日 (祝・土)	ひまわりこどもクリニック	内科	544-5600
	吹上整形外科医院	外科	548-5211
4日 (祝・日)	清水こども医院	内科	540-6360
	村越外科胃腸科肛門科	外科	548-0048
5日 (祝・月)	昭和クリニック	内科	548-0025
	坪山整形外科	外科	548-0052
6日 (振・火)	サンビレッジクリニック鴻巣	内科	540-0088
	鴻北クリニック	外科	595-3733

日にち	医療機関名	科目	電話
11日 (日)	河野小児科医院	内科	541-0146
	鴻巣外科胃腸科	外科	543-7770
18日 (日)	こうのす共生病院	内科	541-1131
	こうのす共生病院	外科	541-1131
25日 (日)	佐野医院	内科	541-2888
	小室クリニック	外科	541-0020



▲休日当番薬局は市HPをご覧ください

● 県救急電話相談(大人・小児の相談、医療機関案内) ☎#7119又は048-824-4199(24時間対応)

● 鴻巣市医師会救急ダイヤル ☎543-9900(24時間対応)

● 夜間診療所 ☎543-1561 診療日 年末年始を除く平日の19時～22時(受付=19時～21時45分)

診療科目 内科・小児科 ※軽症の応急処置に限る(熱のある方は事前に連絡してください)



健康生活

サプリメントと
薬の飲み合わせ

サプリメントは健康維持や体調改善に役立ちますが、薬と併用する際には注意が必要です。

まず、相互作用の問題があります。サプリメントと薬が体内で相互作用を起こすと、薬の効果が増強されたり、逆に減弱されたりすることがあります。たとえば、ワルファリンという抗凝固薬を服用している場合、ビタミンKを含むサプリメントは薬の効果を弱める可能性があります。

次に、吸収や代謝への影響です。サプリメントが薬の吸収や代謝に影響を与えることがあります。例えば、カルシウムや鉄分を含むサプリメントは、抗生物質の吸収を妨げる可能性があります。また、グレープフルーツジュースは、一部の薬の代謝を変化させ、薬が体内に過剰に蓄積されるリスクがあります。

過剰摂取にも注意が必要です。サプリメントは自然由来であっても、過剰に摂取すると健康に害を及ぼすことがあります。特に、ビタミンAやビタミンDは脂溶性で体内に蓄積されやすく、過剰摂取によって中毒症状を引き起こす可能性があります。サプリメントと薬の成分が重複することもあるため、過剰摂取のリスクも考慮する必要があります。

サプリメントは一見安全に思えるかもしれませんが、このように薬との相互作用や体への影響を考慮することが必要です。特に、複数の薬を服用している場合や慢性疾患を持っている場合は、サプリメントを追加する前に医師や薬剤師に相談し、適切なアドバイスを受けることが推奨されます。

サプリメントと薬を適切に併用することで、健康管理が効果的になりますが、相互作用や過剰摂取に注意し、専門家のアドバイスを受けることが大切です。

(鴻巣薬剤師会)